

## ■ 分野別計画編の見方

### 基本施策1

- ◆基本施策の目  
市民自らが  
関係を構築す  
限に抑えられ

【まちの状態を表す指標】は、「基本施策の目的:目指すまちの姿」にどの程度近づいているのかを客観的に確認するための指標です。

基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合は( )書きで基準年度を示しています。

#### 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
自然災害による死傷者数	0人	0人	0人	0人	→

#### 展開方向1:市民一人ひとりの防災意識を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合	48.5%	49.8%	52.0%	54.3%	↗
家具の転倒防止などの措置をしている市民の割合	38.9%	39.3%	38.9%	40.0%	↗
避難所を知っている市民の割合	76.9%	73.9%	75.4%	76.0%	↗
市の防災情報メールを登録している市民の数	7,529人	7,825人	9,609人	9,894人	↗

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】は、展開方向の手段を実施したことで目標にどの程度近づいているのかを客観的に確認するための指標です。

基準値は原則として平成30年度実績値、それ以外の場合は( )書きで基準年度を示しています。

## 第1章 安全・環境

1. 防災・減災
2. 生活安全
3. 多文化共生
4. 消防・救急
5. 環境・エネルギー
6. ごみ・資源

## 基本施策1

## 防災・減災

## ◆基本施策の目的

市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に地域が一体となって被害を最小限に抑えられるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
自然災害による死傷者数	0人	0人	0人	0人	→

## 展開方向1:市民一人ひとりの防災意識を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
水や食料品などの災害用備蓄品を備蓄している市民の割合	48.5%	49.8%	52.0%	54.3%	↗
家具の転倒防止などの措置をしている市民の割合	38.9%	39.3%	38.9%	40.0%	↗
避難所を知っている市民の割合	76.9%	73.9%	75.4%	76.0%	↗
市の防災情報メールを登録している市民の数	7,529人	7,825人	9,609人	9,894人	↗

## 展開方向2:災害に備えて地域で支え合う風土を醸成します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
防災訓練への参加者数	9,383人	7,939人	1,345人	1,197人	↗
地域防災の担い手を養成する講座の受講者数	18人	11人	0人	1人	↗

## 展開方向3:災害時に迅速に対応できる体制を強化します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
災害時における協定締結数(累計)	66件	70件	72件	72件	↗

基本施策2

生活安全

◆基本施策の目的

交通事故や犯罪、消費者トラブルの被害者や加害者になることがないよう、すべての市民が安全で安心して暮らせるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
人身事故件数	758件	659件	508件	504件	↘
刑法犯認知件数	1,374件	1,182件	864件	825件	↘
消費生活センターで把握した消費者トラブルの件数	923件	893件	852件	868件	↘

展開方向1:交通安全意識と交通マナーを高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
交通安全教育への参加者数	2,980人	2,976人	1,136人	2,309人	↗
啓発活動などへの参加企業数	5社 (令和元年度)	—	3社	2社	↗
日頃からライトオン運動を行っている免許保有者の割合	83.8%	84.6%	89.6%	88.1%	↗
日頃からハイビームの有効活用を行っている免許保有者の割合	48.3%	20.0%	52.4%	53.5%	↗
交通安全対策事業への高齢者の参加者数	339人 (令和元年度)	—	93人	140人	↗

## 展開方向2: 犯罪を防ぐ地域の防犯力を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
空き巣、忍込み防止対策をしている市民の割合	52.7%	52.0%	53.3%	51.0%	↗
自動車盗、部品ねらい、車上ねらいの防止対策をしている自動車の所有者の割合	42.3%	40.7%	40.5%	39.0%	↗
自転車の施錠率(自宅含む)	89.5%	89.6%	89.5%	88.7%	↗
月1回以上活動している防犯パトロール団体数	79 団体	83 団体	81 団体	81 団体	↗
防犯灯設置数	10,556 灯	10,572 灯	10,692 灯	10,763 灯	↗
防犯カメラ設置数	583 台	702 台	710 台	742 台	↗

## 展開方向3: 安心して相談できる環境を整えます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
消費生活センターにおける助言率	84.4%	100%	100%	100%	↗
消費生活センターを知っている市民の割合	59.2%	60.1%	58.4%	58.5%	↗
出前講座への65歳以上の参加者数	624 人	155 人	41 人	0 人	↗
出前講座への20歳未満の参加者数	126 人 (令和2年度)	—	—	106 人	↗

充実

## 通学路防犯カメラ増設事業



市民生活部 市民安全課

- 1 予算額 (債務負担行為 10,468千円)
- 2 目的及び効果 子どもたちの見守りを一層強化するため、通学路等に設置する防犯カメラを倍増し、地域の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の発生を抑止する生活環境の整備を推進します。

### 3 事業概要

国が策定した「登下校防犯プラン」に基づき、登下校時における子どもの安全を確保するための対策の一つとして、令和元年度から通学路を中心とした市内約100か所に防犯カメラを設置・稼働していますが、さらなる見守り強化のため、100台から200台へ設置台数を倍増します。



## 基本施策3

## 多文化共生

## ◆基本施策の目的

国籍などに関わらず、基本的人権を尊重しながらお互いに理解し、交流を深め、支え合い協力することで、日本人市民と外国人市民が活躍する多文化共生のまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
小牧市多文化共生推進プランの達成率	59.5% (令和2年度)	—	—	61.5%	↗
日常生活で外国人市民と接する機会がある日本人市民の割合	33.3% (平成29年度)	29.3%	29.0%	28.3%	↗
外国人生徒の中学卒業後の進学率	84.4%	89.0%	87.5%	91.9%	↗

## 展開方向1:外国人市民が住みやすい環境を整えます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
外国人相談件数	11,129件	11,351件	13,631件	12,203件	↗
外国人市民向けホームページの年間アクセス数	2,614件	3,993件	9,892件	13,099件	↗

## 展開方向2:日本人市民と外国人市民が互いの「ちがひ」を学び活躍する機会を増やします

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
小牧市多文化共生推進プランの認知度	21.1% (平成29年度)	20.9%	21.5%	22.3%	↗
日本人市民と外国人市民が交流する事業などへの参加者数	1,985人	2,130人	552人	1,190人	↗

充実

## 外国人相談事業



市民生活部 多文化共生推進室

1 予算額 5,185千円

2 目的及び効果 外国人市民に必要な情報を多言語で提供するとともに、相談事業を拡充し、生活環境の充実を図ります。

### 3 事業概要

(1) 充実 ベトナム語相談員の雇用

小牧市に居住するベトナム国籍の市民が増加し、さらに定住化傾向が強まってきているため、現在のポルトガル語1名、スペイン語・英語1名に加え、ベトナム語の相談員を新たに1名雇用し、外国人相談業務を拡充します。

(2) 充実 タブレット端末を利用した遠隔通訳サービスの拡充

令和4年度に導入した遠隔通訳サービスを利用して、相談員が対応しない言語へ対応するとともに、導入端末を増やし、様々な窓口で利用できるよう拡充します。



## 基本施策4

## 消防・救急

## ◆基本施策の目的

消防・救急体制及び防火安全対策を強化し、災害や事故から市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
建物火災による死者数(放火自殺者を除く)	0人	1人	2人	0人	→
建物火災による負傷者数(放火自殺者を除く)	4人	7人	7人	10人	↘
建物火災の発生件数	23件	24件	17件	25件	↘
救命率	3.9%	5.2%	4.2%	5.7%	↗

## ◆展開方向1:火災予防対策を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
住宅用火災警報器の条例適合設置率	68.2%	70.3%	70.3%	70.9%	↗
重大な消防法令違反の特定防火対象物数	0棟 (令和元年度)	—	0棟	0棟	→
耐震性の防火水槽の割合	38.2%	38.7%	38.9%	39.2%	↗

## ◆展開方向2:救命率の向上を図ります

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
救命講習及び救命入門コースの受講者数	2,940人	2,856人	1,061人	1,075人	↗
心肺停止傷病者に対する市民の応急手当実施率	69.3%	61.3%	66.9%	73.6%	↗
救急車への救急救命士の搭乗率	100%	100%	100%	100%	→

◆展開方向3:自主防災会活動の活性化を図ります

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地区防災訓練で避難所の設営・運営訓練に取り組んだ組織の割合	6.3%	18.7%	0.0%	0.0%	↗
地区防災訓練への20歳未満の参加者数	363人 (令和元年度)	—	33人	49人	↗



# 消防団車庫建設事業



消防本部 消防総務課

1 事業年度 令和5年度～令和7年度

2 予算額 155,753千円

3 目的及び効果 消防団の第2分団及び第4分団車庫を、出勤に安全でかつ、ミーティングスペースや駐車スペースなど十分な敷地を確保できる適切な場所への移転を進めます。

4 事業概要 第2分団車庫は令和7年度に大字西之島地内へ、第4分団車庫は令和5年度に大字林地内への移転完了を目指し、消防団車庫の建設事業を進めます。

また、同敷地内に、耐震性貯水槽を1基ずつ設置します。



年度 分団	R5	R6	R7
2分団	→ 用地購入	→ 設計	→ 工事
4分団	→ 工事		

車庫建設スケジュール

## 救急自動車増台事業



消防本部 消防総務課

1 予算額 122,760千円

2 目的及び効果 高齢化の進展に伴う救急出動件数の増加に対応するため、消防署東支署に救急自動車を1台増台し常時運用6台体制とすることにより、現場到着時間を短縮することが期待でき、救命率の向上につながります。

### 3 事業概要

- 救急隊増隊に伴い救急救命士を育成します。
- 救急自動車増台に伴い車載型無線機等を整備します。
- 消防職員増員により、消防署東支署の仮眠室等庁舎の改修工事を行うとともに、ベッド・ロッカー等の備品を整備します。
- 救急自動車を購入し、消防署東支署に配備します。



令和6年春の6台体制運用開始を目指します！



**基本施策5**

**環境・エネルギー**

◆基本施策の目的

再生可能エネルギーの利用促進や温室効果ガス排出量の削減により低炭素社会の実現を目指すとともに、大気や水など身近な地域環境の良好な状態を保持し、快適で住みやすいまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市内温室効果ガス排出量	2,205 千t-CO2 (平成28年度)	2,165 千t-CO2 (平成29年度)	2,042 千t-CO2 (平成30年度)	1,968 千t-CO2 (令和元年度)	↘
大気汚染に係る環境基準達成率	75%	75%	75%	75%	↗
水質汚濁に係る環境基準達成率	80%	100%	100%	80%	↗
公害苦情発生件数	141 件	145 件	174 件	179 件	↘

◆展開方向1:環境意識を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
日頃から省エネルギーを意識した行動を実践している市民の割合	71.6%	66.5%	68.4%	69.9%	↗
小中学生の環境にやさしい生活の達成率(エコライフチェックシート)	69.4%	69.5%	69.2%	69.1%	↗

## 展開方向2:省エネルギー型機器・再生可能エネルギーを普及します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地球温暖化対策設備の設置補助件数(累計)	255件 (令和元年度)	—	459件	630件	↗
事業者に対する省エネルギーの支援件数(累計)	10件	13件	20件	23件	↗
公共施設への省エネルギー型機器の導入件数(累計)	64施設	75施設	83施設	93施設	↗

## ◆展開方向3:良好な地域環境の保全を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
汚水処理人口普及率	82.5%	82.5%	83.6%	83.9%	↗
環境保全協定締結事業所数(累計)	26件	26件	26件	26件	↗

充実

## ゼロカーボンシティ推進事業



1 予算額 66,074千円

2 目的及び効果

市民生活部 環境対策課(※)  
(※ R5.4.1～ ゼロカーボンシティ推進室)  
自治会支援室  
リサイクルプラザ  
都市政策部 都市整備課

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市内から排出される温室効果ガス排出量の削減の取組をさらに進めます。

市は、率先して省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入などを行い、自らが排出する温室効果ガス低減を図るとともに、情報提供などにより市民や事業者の省エネルギー行動を一層普及させます。

市民に向けては、家庭の効率的なエネルギー利用を促進し、地球温暖化防止及び脱炭素社会の形成と市民意識の高揚を図ります。

3 事業概要

(1) **新規** 公共施設照明設備LED化事業 17,706千円

【環境対策課:3,171千円】(債務負担行為15,463千円)

市内公共施設照明設備のLED化を早期に進めるため、43施設をまとめてLED照明に更新します。令和5年度、6年度で順次導入します。

【自治会支援室:6,000千円】

集会施設照明設備LED化事業費補助金

【都市整備課:8,535千円】

ラピオ地下駐車場在否灯等のLED化

間内駅、味岡駅、東田中、中央道桃花台バス停の自転車等駐車場の照明器具LED化

(2) **新規**電気自動車購入事業 10,368千円

【環境対策課:5,418千円】

電気自動車2台を購入し、公用車への率先導入を行います。

【リサイクルプラザ:4,950千円】

電動フォークリフト購入

(3) **新規**公共施設太陽光発電設備等導入調査事業 9,000千円

公共施設への太陽光発電設備の導入を計画的かつ効果的に推進するため、市有施設における太陽光発電設備の導入可能性を調査します。

(4) **充実**新エネルギー導入助成事業 29,000千円

省エネルギー型機器・再生可能エネルギーを導入する市民に対し設置費用の一部を補助します。年間を通じて設備の設置補助ができるよう、補助予算額を増額します。

区分	設備	補助額
単体導入	電気自動車等充給電設備	5万円
	家庭用燃料電池システム	10万円
	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	1万円
	定置用リチウムイオン蓄電システム(蓄電池)	10万円
一体的導入 (HEMS、住宅用太陽光発電設備とあわせて導入)	蓄電池	上限23万円
	電気自動車等充給電設備	上限18万円
	高性能外皮等(ZEHに必要な高断熱外皮、空調設備、給湯設備及び換気設備)	上限23万円

**基本施策6**

**ごみ・資源**

◆基本施策の目的

市民・事業者との適切な役割分担のもと、協働で資源循環型社会を構築するとともに、ごみのポイ捨てなどがない快適で清潔なまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
1人1日あたりのごみの排出量(家庭系ごみ)	422.8g	445.8g	460.4g	451.9g	↘
事業系ごみの年間排出量	11,643t	10,328t	10,149t	10,433t	↘
回収した不法投棄のごみの量	45t	36t	35t	29t	↘

◆展開方向1:市民・事業者・行政の協働による3Rを推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
再資源化率	36.6%	37.0%	36.7%	36.6%	↗
再資源化施設で処理された事業系ごみの量	3,735t	4,235t	4,179t	4,029t	↗
こまやか収集実施世帯数	178世帯	210世帯	246世帯	304世帯	↗

◆展開方向2:ごみの適正な排出を徹底します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
ごみ出しルールを守っている市民の割合	98.1%	98.1%	98.2%	96.6%	↗
特別収集の受付件数	458件	423件	655件	788件	↘

◆展開方向3:地域の環境美化を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
アダプトプログラム活動者数	16,829人	14,754人	14,493人	12,548人	↗
グリーンアップ事業活動者数	72,148人	92,231人	27,767人	36,768人	↗

## 第2章 健康・福祉

7. 健康づくり
8. 地域福祉
9. 介護・高齢者福祉
10. 障がい者(児)福祉
11. 地域医療
12. 保険・福祉医療

**基本施策7 健康づくり**

◆基本施策の目的

市民が積極的に健康づくりに取り組み、生涯にわたって元気でいきいきと暮らすことができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
平均寿命(男性)	81.0年 (平成27年)	—	—	—	↗
平均寿命(女性)	86.7年 (平成27年)	—	—	—	↗
健康寿命(男性)	80.43年 (平成28年)	80.23年 (平成29年)	80.19年 (平成30年)	80.34年 (令和元年)	↗
健康寿命(女性)	83.93年 (平成28年)	83.94年 (平成29年)	84.09年 (平成30年)	84.19年 (令和元年)	↗

◆展開方向1:心と体の健康づくりへの取り組みを支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
大腸がん検診受診率	13.8%	13.5%	12.0%	12.3%	↗
乳がん検診受診率	4.6%	5.0%	3.8%	4.1%	↗
ゲートキーパー養成講座受講者数	236人	120人	108人	241人	↗
いきいき世代個別歯科健診受診率	8.8%	8.2%	10.8%	8.9%	↗
あいち健康づくり応援カード(まいか)交付者数	544人	613人	214人	353人	↗

◆展開方向2:親子が心身健やかに育み合うことを支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
こどもの定期予防接種率	94.4%	92.4%	86.5%	81.9%	↗
乳幼児健康診査受診率	99.0%	96.0%	95.9%	95.9%	↗

新規

## 若年がん患者在宅療養助成事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 648千円

2 目的及び効果 終末期と診断された若年のがん患者が住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活をおくることができるよう、在宅療養生活を支援し、患者及び家族の負担軽減を図ります。

3 事業概要 対象者の在宅生活に係る在宅サービス利用料、福祉用具の貸与や購入費の助成をします。

### 【対象者】

0～40歳未満のがん患者で、  
終末期がんと診断された方

### 【助成額】

自己負担額の9割(上限額6万円)



## 子宮頸がんワクチン接種事業



健康生きがい支え合い推進部 保健センター

1 予算額 170,806千円

2 目的及び効果 子宮頸がんワクチンを接種することにより、子宮頸がんの発生と関連が深い一部の型のヒトパピローマウイルス感染を予防することができます。



3 事業概要

### 【通常接種分】

小学6年生から高校1年生相当年齢の女性を対象にして、予防接種実施医療機関にて無料で接種できます。

### 【キャッチアップ接種分】

平成25年6月から積極的な接種勧奨が中止されていましたが、令和4年度から再開されました。中止されていた期間に接種対象者であった、平成9年度から平成17年度生まれの9学年で、今までに接種をしていない女性を対象に、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間を接種期間として無料で接種できます。



## 基本施策8

## 地域福祉

## ◆基本施策の目的

地域住民がお互いさまの気持ちで協力し支え合うことで、安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地域福祉活動に参加している市民の割合	33.0%	26.2%	23.4%	28.3%	↗
ボランティア登録者数	3,957人	3,941人	3,565人	3,425人	↗

## ◆展開方向1:地域福祉活動にふれる機会を増やします

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
福祉体験学習への参加者数	91人	105人	0人	3人	↗
ジュニア奉仕団への参加者数	928人	850人	791人	826人	↗
ココボラへの参加者数	32人	42人	24人	58人	↗
支え合いいきいきポイント登録事業所・団体数	101団体	116団体	118団体	122団体	↗
お互いさまサポーター登録者数	981人	1,170人	1,212人	1,250人	↗

## ◆展開方向2:安心して地域で生活できる環境を整えます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
ふくし座談会への参加者数	370人	168人	43人	12人	↗
地域協議会で実施している地域福祉活動の事業数	7事業	8事業	6事業	8事業	↗
避難行動要支援者台帳の登録割合	45.6%	42.7%	65.6%	60.8%	↗

◆展開方向3:相談支援体制を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
専門職によるふれあい・いきいきサロンにおける相談巡回件数	129件	140件	83件	139件	↗
民生委員・児童委員の相談件数	5,501件	5,157件	4,900件	5,891件	↗
相談に対して生活困窮者支援プランを作成し課題解決につながった割合	12%	31%	56%	89%	↗

## 基本施策9

## 介護・高齢者福祉

## ◆基本施策の目的

住み慣れた地域での支え合いにより、社会との関係を持ちながら自分らしく自立し、安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
介護保険第1号被保険者1人あたり保険給付費	170,050 円	180,350 円	189,997 円	199,619 円	↘
要介護(要支援)認定者のうち在宅などで暮らしている市民の割合	86.5%	86.8%	86.8%	87.7%	↗

## ◆展開方向1:介護サービスの質の向上と介護給付費の適正化に努めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地域密着型サービス施設の整備数	27 箇所	25 箇所	26 箇所	26 箇所	↗
介護職員研修受講者数	68 人	23 人	82 人	30 人	↗
介護予防・日常生活支援総合事業における新たなサービスの利用者数	18 人	19 人	39 人	56 人	↗
ケアプラン点検の実施件数	85 件	86 件	10 件	43 件	↗

## ◆展開方向2:認知症の人とその家族に対するサポート力を強化します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
初期集中支援チームの支援により、6ヶ月以内に受診や介護サービスの利用につながった割合	100%	53.3%	64.7%	66.7%	→
認知症カフェへの参加者数	2,070 人	2,869 人	607 人	767 人	↗
尾張北部権利擁護支援センターへの高齢者の権利擁護に関する相談人数	75 人	77 人	67 人	101 人	↗

◆展開方向3:介護予防の環境づくりを推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
週1回以上こまき山体操を実施している団体数	3 団体	5 団体	5 団体	7 団体	↗
こまき介護予防推進リーダーの人数	52 人	87 人	87 人	87 人	↗
一般介護予防教室への参加者数	2,766 人	3,220 人	374 人	1,419 人	↗

◆展開方向4:高齢者がいきいきと暮らせる環境を整えます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
老人福祉センターの利用者数	176,467 人	174,380 人	57,109 人	77,886 人	↗
ふれあい・いきいきサロンの数	73 箇所	79 箇所	78 箇所	81 箇所	↗
市立寿学園生徒数	2,245 人	2,024 人	1,950 人	1,700 人	↗
シルバー人材センター会員就業率	89.7%	89.2%	81.2%	85.0%	↗
老人クラブ会員数	4,688 人	4,502 人	4,288 人	4,035 人	↗

## 基本施策 10

## 障がい者(児)福祉

## ◆基本施策の目的

だれもが相互に人格と個性を尊重することで、支えあい、ともに暮らせるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
障がいを理由に差別を受けたり嫌な思いをした経験がある障がい者(児)の割合	18.3% (平成28年度)	30.6%	—	—	↘
福祉施設から地域へ移行した人数(累計)	4人 (平成29年度)	5人 (平成30年度)	6人 (令和元年度)	10人 (令和2年度)	↗
春日井職業安定所管内における企業の障害者雇用率	1.96%	2.04%	2.15%	2.15%	↗

## ◆展開方向1:障がいに関する関心を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
ヘルプマークを知っている市民の割合	40.6%	65.6%	69.3%	64.3%	↗
障がいに関する研修会への参加者数	415人	253人	159人	97人	↗
「障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい」への参加者数	586人	592人	0人	0人	↗
市が主催または後援する芸術作品などを発表する機会に出展した障がい者の人数	76人 (令和元年度)	—	130人	140人	↗

◆展開方向2:相談支援体制を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
委託相談支援事業所の設置数	5箇所	6箇所	6箇所	6箇所	↗
障害者相談支援事業相談件数	8,829件	10,501件	11,788件	13,687件	↗
尾張北部権利擁護支援センターへの障がい者の権利擁護に関する相談人数	23人	27人	35人	77人	↗

◆展開方向3:障がい者の自立や社会参加を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
相談員などによるサービス利用計画の作成割合	65.5%	63.0%	64.1%	60.7%	↗
福祉施設から一般就労への移行者数(累計)	25人 (平成29年度)	80人	96人	116人	↗
障害者優先調達法に基づく市の物品などの調達実績額	12,852,622円	16,848,160円	21,598,258円	19,143,396円	↗
市の意思疎通支援事業を利用した実人数	20人	14人	17人	20人	↗
手話通訳者・要約筆記者の登録者数	27人	27人	27人	28人	↗

充実

## 市民後見人養成事業



福祉部 障がい福祉課

1 予算額 846千円

2 目的及び効果 認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な方に対し、法的に援助を行う「成年後見制度」の利用促進を図るため、親族や弁護士等の専門職以外に、市民の目線で後見活動を行う「市民後見人」の養成を行います。

## 3 事業概要

尾張北部権利擁護支援センターにおいて、市民後見人養成事業を実施します。

2年間を1期として基礎・応用研修を開催し、選考を踏まえ市民後見人候補者名簿に登録した後、家庭裁判所に後見人等候補者として推薦します。併せて尾張北部権利擁護支援センターが市民後見人の後見活動を支援します。



尾張北部権利擁護支援センターとは…  
権利擁護に係る支援体制を整備するため、尾張北部二市二町(小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町)で平成30年に共同設置しました。成年後見制度の利用相談や後見活動支援、普及啓発などを行っています。

**基本施策 11 地域医療**

◆基本施策の目的

地域の医療機関が機能に応じて役割を分担し、市民のだれもが個々の状況に応じた適切な医療を受けられるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
休日急病診療所と休日における市民病院救急外来のうち、休日急病診療所の受診者数の割合	37.0%	40.7%	42.2%	43.2%	↗
往診や訪問診療を行う医療機関数	103箇所	98箇所	97箇所	81箇所	↗

◆展開方向1:市民病院の地域医療支援体制を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
高次医療機器(検査)の利用件数	56,135件	53,673件	51,820件	53,526件	↗
市民病院への紹介率	64.9%	67.2%	67.0%	66.6%	↗
市民病院が開催する地域の医療従事者向けの研修などに参加した院外の医療従事者数	495人	345人	123人	131人	↗
経常収支比率	97.17%	91.76%	97.37%	101.00%	100%

◆展開方向2:休日急病診療所の適正運営に努めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
休日急病診療所受診者のうち適正受診者割合	83.7%	—	82.2% (令和元年度)	71.8% (令和2年度)	↗
休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがある市民の割合	14.7%	10.5%	11.0%	10.4%	↘

## ◆展開方向3:在宅医療・介護の支援体制を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
在宅などで看取りを受けた市民の人数	98人	138人	287人	365人	↗
多職種による研修会への参加者数	466人	464人	37人	116人	↗
電子連絡帳への登録機関数	108箇所	157箇所	219箇所	298箇所	↗
わた史ノート書き方講習会への参加者数	322人	204人	17人	23人	↗

**基本施策 12**

**保険・福祉医療**

◆基本施策の目的

健全かつ安定的な保険制度の運営と福祉医療の充実により、だれもが安心して必要な医療が受けられるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
国民健康保険税現年収納率	93.0%	93.3%	93.5%	94.4%	↗
国民健康保険1人あたり保険給付費	268,989円	275,338円	269,123円	288,810円	↘

◆展開方向1:健全な国民健康保険制度を運営します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
国民健康保険税口座振替登録率	69.0%	71.1%	72.4%	72.6%	↗
特定健診受診率	43.5%	—	42.8% (令和元年度)	40.1% (令和2年度)	↗
特定保健指導終了率	21.2%	—	20.7% (令和元年度)	14.6% (令和2年度)	↗
ジェネリック医薬品使用率	72.3%	76.1%	78.1%	79.7%	↗
生活習慣病重症化予防勸奨後の医療機関受診率	14.0%	14.2%	12.9%	10.7%	↗

◆展開方向2:子どもや経済的に弱い立場の市民のための福祉医療を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
福祉医療費助成によって安心して医療が受けられると思う市民の割合	96.2%	95.5%	94.0%	95.3%	↗

## 第3章 教育・子育て

13. 学校教育
14. 教育環境
15. 子育て支援
16. 幼児教育・保育
17. 男女共同参画

## 基本施策 13

## 学校教育

## ◆基本施策の目的

小牧市の未来を担う子どもたちの温かな心の源となる「愛」と、自らを高める意志の源となる「夢」、社会をたくましく生き抜くことができる「生きる力」を育てるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
こどもが学校に元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合	90.8%	93.1%	91.0%	90.9%	↗
学校が楽しいと思うこどもの割合	91.2%	91.4%	91.0%	91.0%	↗
給食が楽しみと思うこどもの割合	83.7%	82.2%	80.3%	83.9%	↗
不登校児童生徒数	393人	410人	446人	554人	↘
小学校における千人あたりのいじめの認知件数	56.7件	43.1件	34.0件	69.5件	—
中学校における千人あたりのいじめの認知件数	114.1件	99.1件	47.2件	69.9件	—

## ◆展開方向1:児童生徒の学びや学校生活を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
教職員研修への参加者数	3,716人 (令和元年度)	—	2,011人	5,928人	↗
児童の授業理解度(県平均との差)	+1.3%	-2.1%	—	-3.8%	↗
生徒の授業理解度(県平均との差)	±0.0%	-0.6%	—	-7.8%	↗
ICTを効果的に活用して授業をしている教員の割合	74.9%	75.3%	73.6%	79.1%	↗
ゲストティーチャーによる活動回数	100回	136回	45回	78回	↗
勤務時間外の在校時間が月80時間を超過している教職員の割合	12.7%	8.5%	6.9%	6.9%	↘

## ◆展開方向2:児童生徒や家庭への支援体制を強化します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
スクールソーシャルワーカーの支援により、状況が改善した件数	15件	24件	65件	97件	↗
語学相談員ひとりあたりの児童生徒数	50.7人	49.3人	49.2人	47.5人	↘
不登校児童生徒のうち、登校できるようになった者及び良い変化があった者の割合	46.6%	28.8%	29.6%	33.9%	↗
いじめの解消率(小学校)	78.0%	62.8%	71.3%	56.6%	↗
いじめの解消率(中学校)	79.0%	71.6%	44.0%	41.1%	↗

◆展開方向3:安全・安心な学校給食を提供します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
朝食を食べている児童生徒の割合	92.2%	92.7%	92.8%	92.5%	↗
残食率	6.9%	7.6%	8.8%	8.3%	↘
食物アレルギーによる事故件数	1件	4件	0件	0件	↘

**充実**

**スクールソーシャルワーカー配置事業**



教育委員会事務局 学校教育課

1 予 算 額            19,946千円

2 目的及び効果            スクールソーシャルワーカーが、児童相談センターや社会福祉協議会、病院、警察などの関係機関と連携協力し、児童生徒が置かれた環境へ働きかけることで、問題行動の早期解決を目指します。

3 事業概要            社会福祉士または精神保健福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカーを、学校からの要請に基づき教育委員会が必要と判断した学校へ派遣します。スクールソーシャルワーカーを1名増員し4名体制とし、貧困やネグレクト、ヤングケアラーなどといった家庭環境に要因がある児童生徒の支援体制を強化します。

訪問活動回数

体制	1名体制			2名体制			3名体制	4名体制
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
訪問活動回数	86	259	463	746	539	582	675 (12月末現在)	—

基本施策 14	教育環境
---------	------

## ◆基本施策の目的

子ども達が、安全で安心して学習できる教育環境を整えたまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
学校内での事故件数	18件	19件	14件	14件	↘
児童生徒の登下校中の交通事故件数	3件	1件	4件	3件	↘

## ◆展開方向1:安全で快適な教育環境を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
施設維持管理上の不備による児童生徒の事故件数	0件	0件	0件	0件	→
トイレの洋式化率	45.0%	45.0%	63.7%	72.7%	↗
特別教室のエアコン設置率	47.0%	47.0%	62.1%	85.0%	↗
通学路の安全対策実施件数	11件	14件	7件	9件	↗

## ◆展開方向2:学校教育のICT化を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
タブレットPCなどの学習者用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	6.6人	4.6人	0.9人	0.9人	↘

**新規****(仮称)新たな学校づくり推進計画****策定事業**

教育委員会事務局 教育総務課

1 事業年度 令和5年度～令和6年度

2 予算額 522千円(債務負担行為25,300千円)

## 3 目的及び効果

学校施設の老朽化や児童生徒数の減少が進む中、将来を担う子どもたちに充実した教育環境を整えるため、子どもたちにとって望ましい教育環境や学校施設の適正規模・適正配置などの基本的な考え方を整理した計画を策定し、将来の教育環境の整備(建替え・大規模改修・統廃合)の方針とします。

## 4 事業概要

- ・(仮称)新たな学校づくり推進計画策定委員会の開催
- ・アンケート調査の実施
- ・ワークショップの開催
- ・モデル校の候補地選定
- ・モデル校対象地区説明会開催
- ・計画(案)の作成
- ・パブリックコメントの実施

# 米野小学校改築事業



教育委員会事務局 教育総務課

1 事業年度 令和4年度～

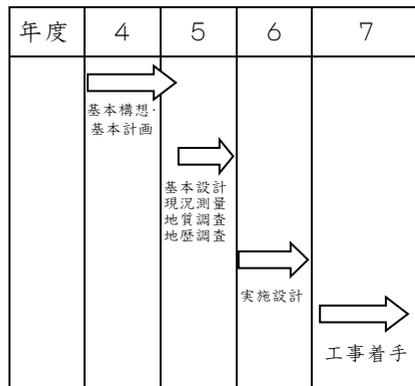
2 予算額 107,620千円

3 目的及び効果 米野小学校は、昭和45年に開校して、すでに建築後50年以上が経過し、建物が老朽化しています。さらに、児童数の増加により、教室数が不足し、一時的な措置として、仮設校舎を建設対応しています。これらの課題を解消し、安心して学ぶことのできる学習環境と快適に過ごすことのできる施設環境を提供するため、米野小学校を改築します。

4 事業概要 令和5年度は、令和4年度に引き続き、基本構想・基本計画の策定を行い、その後、基本設計、現況測量、地質調査等を行います。



現在の米野小学校



改築スケジュール

## 基本施策 15

## 子育て支援

## ◆基本施策の目的

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制を整えるとともに、こどもが健やかに成長できるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
小学生児童がいる母親の就業率	74.4%	—	—	—	↗
児童虐待の認知件数	250件	255件	275件	359件	—
青少年の非行認知件数	809件	1,027件	1,138件	876件	—

## ◆展開方向1:子育て家庭を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
放課後児童支援員キャリアアップ研修修了者数	29人	32人	42人	64人	↗
放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人	0人	0人	→
児童虐待の解消率	76.0%	82.7%	88.4%	91.9%	↗
ひとり親家庭のうち市の入学支援金により大学などに進学した割合	29.1%	25.7%	27.5%	18.5%	↗

## ◆展開方向2:地域の子育て・子育てを支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
児童館・子育て世代包括支援センターの利用者数	531,773人	492,939人	209,797人	406,139人	↗
市子ども会連絡協議会に加入している子ども会の数	36団体	35団体	35団体	—	↗

◆展開方向3:健全な青少年を地域で育てます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地域の大人とあいさつをしている中学生の割合	85.9%	88.1%	85.4%	89.7%	↗
中学生の地域活動への参加率	89.0% (平成29年度)	121.0%	27.0%	20.1%	↗
駒来塾学習支援員・サポーターの登録者数	51人	59人	52人	48人	↗

## 基本施策 16

## 幼児教育・保育

## ◆基本施策の目的

多様化・低年齢化している幼児教育・保育ニーズに対応し、保護者が安心して子どもを預けることのできるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
合計特殊出生率	1.44 (平成29年)	1.35 (平成30年)	1.30 (令和元年)	1.23 (令和2年)	↗
未就学児がいる母親の就業率	56.4%	—	—	—	↗

## ◆展開方向1:保育需要と多様化するニーズに対応します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
待機児童数	0人 (平成31年4月1日 時点)	0人 (令和2年4月1日 時点)	0人 (令和3年4月1日 時点)	0人 (令和4年4月1日 現在)	→
延長保育で預かった子どもの数	2,848人	1,950人	1,455人	2,131人	↗
休日保育で預かった子どもの数	181人	215人	62人	133人	↗

## ◆展開方向2:良好な幼児教育・保育環境を確保します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
研修参加者数	1,286人	1,507人	778人	1,098人	↗
各種保育施設が自ら実施する保育の質の向上のための自己評価の1園あたり年間実施回数	8.5回 (令和元年度)	—	9.1回	10.7回	↗
計画的な営繕工事(防水改修)の進捗率	15.0%	20.0%	25.0%	25.0%	↗

## 基本施策 17

## 男女共同参画

## ◆基本施策の目的

あらゆる分野へ男女がともに対等な立場で協力・参画し、個性と能力を発揮するとともに、多様な生き方や考え方、価値観を認め合うまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
働いている女性(20～50歳代)の割合	67.9% (平成27年度)	74.4%	74.0%	79.4%	↗
固定的な性別役割分担に反対する男性の割合	26.8% (平成26年度)	—	45.4%	—	↗

## ◆展開方向1:男女共同参画に向けた意識改革を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	1,616人	2,509人	559人	558人	↗
男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	0校	2校	0校	0校	↗

## ◆展開方向2:あらゆる分野における女性の活躍を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
ファミリーフレンドリー企業の登録数	10件	18件	19件	19件	↗
審議会などへの女性委員の登用率	28.0%	27.3%	26.4%	25.8%	↗

## ◆展開方向3:女性が安心して暮らせる社会を構築します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
女性相談の窓口を知っている女性の割合	41.2%	41.6%	42.9%	43.8%	↗

## 第4章 文化・スポーツ

18. スポーツ

19. 文化・芸術

20. 生涯学習

## 基本施策 18

## スポーツ

## ◆基本施策の目的

市民の誰もがスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備することにより、心身ともに健康で文化的な生活が送れるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	82.6% (平成29年度)	87.4%	87.3%	86.7%	↗

## ◆展開方向1:スポーツ活動の機会を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数	1,232人	1,329人	225人	412人	↗
スポーツ教室などへの参加者数	6,600人	6,909人	2,108人	2,459人	↗

## ◆展開方向2:スポーツ活動を支える人材の育成と体制の強化を図ります

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
スポーツ指導者登録者数	298人	291人	295人	288人	↗
指導者を対象とした研修会などへの参加者数	254人	168人	0人	183人	↗

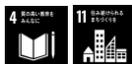
## ◆展開方向3:安全・安心なスポーツ活動の環境を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数	0件	1件	0件	0件	→
市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	988,001人	835,301人	349,651人	384,257人	↗
パークアリーナ小牧メインアリーナの利用率	78%	75%	76%	75%	↗
パークアリーナ小牧サブアリーナの利用率	86%	84%	84%	85%	↗
南スポーツセンターグラウンドの利用率	36%	31%	39%	42%	↗

## ◆展開方向4:2026年アジア競技大会に向けた取組みを推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	21.1%	13.1%	11.9%	16.4%	↗

## さかき運動場多目的グラウンド整備事業



健康生きがい支え合い推進部 文化・スポーツ課

- 1 事業年度 令和4年度～令和5年度
- 2 予算額 286,440千円
- 3 目的及び効果 新たな多目的グラウンドを整備することにより、市民がよりスポーツに取り組みやすい環境の整備に努めます。
- 4 事業概要 多様化するニーズに対応するため、さかきテニスコート駐車場横の土地を整備し、夜間照明を備えたフットサル(兼用テニス)コートを整備します。

※令和4年度 設計委託

令和5年度 工事

### 【施設概要】

コート数:2面、全天候型舗装コート:約2,500㎡

ナイター照明:8基、防球ネット:高さ5m



## 基本施策 19

## 文化・芸術

## ◆基本施策の目的

市民がどもにつくる文化・芸術を育み、郷土の歴史・文化に親しむことで郷土への愛着を深め、誇りに満ちたまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
日頃から文化・芸術に親しんでいる市民の割合	50.7%	47.7%	50.9%	51.8%	↗
日頃から文化・芸術に関する創作活動を行っている市民の割合	15.2%	13.9%	14.5%	14.2%	↗
小牧の歴史や伝統文化に興味・関心を持っている市民の割合	58.1%	61.7%	62.5%	61.0%	↗

## ◆展開方向1:文化・芸術の鑑賞機会を充実するとともに、市民の創作活動を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市民会館での公演などへの参加者数	71,391人	87,525人	14,590人	30,634人	↗
(一財)こまき市民文化財団などが主催するイベントへの来場者数	38,903人	39,974人	11,903人	17,404人	↗

## ◆展開方向2:市民やささまざまな文化団体と連携し、文化振興の推進体制の充実を図ります

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
子どもまたは親子で参加する文化体験教室などへの参加者数	1,649人	1,553人	877人	1,379人	↗
小牧市文化協会加盟団体の団体数	92団体	97団体	97団体	88団体	↗
支援を行った文化団体が実施する事業への参加者数	30,046人	47,551人	13,768人	20,892人	↗

◆展開方向3:小牧固有の歴史・文化遺産を保護・保存、活用します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
小牧市歴史館及び小牧山城史跡情報館の入館者数	94,961人 (令和元年度)	—	75,426人	78,078人	↗
指定文化財の数	44件	44件	44件	44件	↗

## (仮称)歴史民俗資料展示施設整備事業



教育委員会事務局 文化財課

- 1 事業年度 令和5年度～令和7年度
- 2 予算額 4,000千円
- 3 目的及び効果 小牧山山頂の小牧山歴史館の展示改装に伴い、市内に歴史民俗資料を展示する施設を新たに設置することで、小牧市の歴史を市民に伝えていくことができます。

### 4 事業概要

令和4年度に小牧山歴史館の展示内容を、歴史民俗資料から戦国時代の小牧山を中心とした展示へ全館リニューアルしたことに伴い、郷土の歴史民俗資料を展示する施設を新たに設置するため、基本構想や基本計画の策定を行います。



銅鐸(北外山出土)

## 基本施策 20

## 生涯学習

## ◆基本施策の目的

豊かな人生を支える、生涯を通じて学ぶことができるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	28.4%	27.9%	28.4%	28.2%	↗

## ◆展開方向1:誰もが学びたいときに学ぶことができる環境を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市民講座受講者数	1,815人	1,864人	778人	1,643人	↗
公民館利用率	46.6%	45.0%	33.3%	36.0%	↗

## ◆展開方向2:自らの学びを社会や地域に還元し役立てるようにするとともに、互いに学び合い育ちあう関係を創出します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
生涯学習の支援や指導に関わった市民の割合	7.7%	6.4%	6.1%	5.6%	↗
生涯学習に関する相談件数	300件	332件	196件	243件	↗

## ◆展開方向3:図書館サービスを充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
貸出利用者数	197,844人	180,944人	162,035人	338,389人	↗
貸出密度(貸出延べ冊数/人口)	6.4冊	5.8冊	5.5冊	8.9冊	↗
レファレンス処理件数	6,130件	6,383件	4,320件	14,002件	↗
図書館が開催する講座、行事などへの参加者数	7,159人	5,430人	1,180人	2,818人	↗

## 第5章 産業・交流

21. シティプロモーション

22. 農業

23. 商工業

## 基本施策 21

## シティプロモーション

## ◆基本施策の目的

さまざまな地域資源の魅力向上とその活用によりブランド力を高めるとともに、魅力を市内外に発信することにより、「訪れたいまち」「住みたいまち」「住み続けたいまち」の形成を目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
交流人口	1,944,102人	1,913,641人	719,686人	645,013人	↗
定住人口	152,816人	152,842人	151,920人	150,684人	↗
主要な観光施策・資源の利用者数(イベント)	444,784人	450,892人	3,000人	4,520人	↗
主要な観光施策・資源の利用者数(イベント以外)	1,499,318人	1,462,749人	716,686人	640,763人	↗

## ◆展開方向1:都市ブランディングを積極的に進めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
ブランドロゴマーク・キャッチフレーズを知っている市民の割合	72.9%	74.6%	75.5%	75.8%	↗

## ◆展開方向2:地域資源の魅力を高めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市が管理運営する観光関連施設の来場者数	911,447人	866,861人	383,602人	358,200人	↗

## ◆展開方向3:まちのにぎわいを創出します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市の主なイベントやまつりに来場または参加した市民の割合	33.9%	35.7%	—	—	↗

## ◆展開方向4:地域資源を総合的に情報発信します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
地域資源に関する情報発信・提供に対するアクセス数	181,771件	217,578件	174,260件	241,413件	↗
市の地域資源がメディアに取り上げられた件数	112件	185件	136件	111件	↗

充実

## 姉妹都市・友好都市交流事業



地域活性化営業部 シティプロモーション課

1 予算額 29,273千円

2 目的及び効果 姉妹都市ワイアンドット市及び友好都市グラント郡、安養市と小牧市の友好が深まり、経済、教育、人材育成など、様々な分野において、連携、協力し、両地域が、将来にわたって発展していくことを目指します。

### 3 事業概要

#### (1) グラント郡中学生派遣事業

市内在住の中学生10名が現地の学校訪問及びホームステイを行い交流を図ります。

#### (2) グラント郡中学生リモート交流事業

市内在住の中学生5名がグラント郡の生徒とリモートによる直接対話型の交流を行います。

#### (3) ワイアンドット市中学生受入事業

ワイアンドット市の中学生が小牧を訪れ交流を図ることで、相互理解を深めるとともに、両市の友好関係を深めます。

#### (4) 安養市親善訪問事業

市昇格50周年を迎えるにあたり、小牧市代表団が安養市を訪問し友情を深めます。

#### (5) 米国親善訪問事業

ワイアンドット市姉妹都市提携60周年及びグラント郡MOU締結を記念し、小牧市代表団が両地域を訪問し友好関係を深めます。

## 基本施策 22

## 農業

## ◆基本施策の目的

市民の農業に対する理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤が維持され、優良な農地が保全されたまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
耕作放棄地の面積	62ha	60ha	68ha	59ha	↘
鳥獣による農作物被害額	2,647千円	1,963千円	2,181千円	1,925千円	↘
農家1戸あたりの生産農業販売実績額	181千円	183千円	176千円	177千円	↗

## ◆展開方向1:農業の担い手を育成・確保します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
認定新規就農者数	2人	1人	1人	3人	↗
認定農業者数	25人	25人	25人	26人	↗
農業体験事業への参加者数	17人	14人	17人	26人	↗

## ◆展開方向2:優良な農地を維持・保全します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
農業の担い手へ集積した農地面積	61.3ha	62.1ha	62.3ha	65.2ha	↗
農地中間管理機構を活用した貸付面積	0.3ha	0.5ha	2.4ha	7.6ha	↗
耕作放棄地の解消面積	0.8ha	1.5ha	△8ha	9ha	↗

## ◆展開方向3:農業にふれあえる機会を充実します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市民菜園の利用者数	153人	151人	168人	173人	↗

◆展開方向4:農業生産基盤の整備を推進します

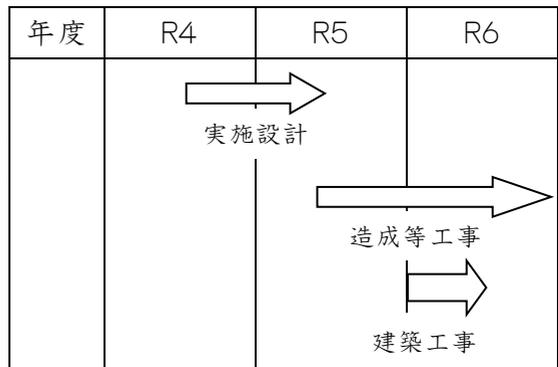
指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
新木津用水路改修工事の進捗率	23.3%	25.6%	34.9%	41.0%	↗
小木排水機場改築事業の進捗率	0%	4.9%	6.5%	22.8%	↗

## (仮称)農業公園整備事業



地域活性化営業部 農政課

- 1 事業年度 令和4年度～令和6年度
- 2 予算額 129,593千円(債務負担行為331,015千円)
- 3 目的及び効果 「食育と環境 ～農と里山の恵み・ふれあい～」を基本理念に、子どもや高齢者の方々を含めた全ての世代の市民を対象に、身近な農業を通じた食の大切さを理解する場とするとともに、里山を生かす自然環境とのふれあいを通して農業振興の発信の場を目指します。
- 4 事業概要 令和6年10月の一部供用開始を目指し、実施設計及び造成等工事を進めます。



整備スケジュール

## 基本施策 23

## 商工業

## ◆基本施策の目的

小牧市の強みや特性を活かしながら産業力を高め、市内企業の流出防止とともに市外から多くの企業を呼び込み、将来にわたり持続可能なバランスのとれた足腰の強い産業構造のまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市内総生産額	970,200百万円 (平成27年)	928,754百万円 (平成28年)	1,028,792百万円 (平成29年)	1,053,754百万円 (平成30年度)	↗
製造品出荷額	1,362,734百万円 (平成29年)	1,431,141百万円 (平成30年)	1,457,407百万円 (令和元年)	—	↗
年間商品販売額	712,371百万円 (平成27年)	—	—	—	↗
従業者数 (製造業、 卸売・小売業)	51,353人 (平成28年)	—	—	—	↗

## ◆展開方向1:産業集積を進めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市の補助制度を活用して進出した企業数(累計)	15件	16件	16件	16件	↗
新たな立地許可基準(12号条例)を活用した立地件数(累計)	2件	4件	4件	5件	↗

## ◆展開方向2:既存事業所の経営を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
「こまき新産業振興センター」における支援企業数	71件 (令和元年度)	—	120件	145件	↗
既存企業に対する各種補助件数(累計)	687件	1,366件	1,988件	2,520件	↗

## ◆展開方向3:起業、創業希望者を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
セミナー参加者の起業(創業)者数(累計)	24人	25人	25人	28人	↗
起業・創業者に対する各種補助件数	57件	51件	69件	73件	↗

## ◆展開方向4:採用活動と求職活動を支援します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
市の施策を通じて就職した人数	7人	—	6人 (令和元年度)	6人 (令和2年度)	↗

## 第6章 都市基盤・交通

- 24. 市街地整備
- 25. 都市交通
- 26. 道路・橋りょう
- 27. 上下水道
- 28. 河川・水路
- 29. 公園・緑地・緑道
- 30. 住宅

## 基本施策 24

## 市街地整備

## ◆基本施策の目的

人口減少と高齢化の進展の中でも持続可能な都市運営を可能とするとともに、すべての世代にとって快適な生活環境を実現するため、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えのもと、コンパクトな都市構造のまねを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
居住誘導区域内居住率	71.1%	71.4%	71.4%	71.5%	↗
居住誘導区域内人口密度	54.3人/ha	54.6人/ha	54.4人/ha	54.0人/ha	↗
都市機能誘導区域における誘導施設立地数	42施設	43施設	44施設	44施設	↗

## ◆展開方向1:都市機能を適切に配置・誘導し、魅力ある市街地を形成します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
中心市街地の歩行者・自転車通行量	6,288人/12h	5,790人/12h	5,590人/12h	5,499人/12h	↗
名鉄小牧駅の1日平均乗降者数	11,117人/日	11,152人/日	8,999人/日	9,465人/日	↗
桃花台中心地区の歩行者・自転車通行量	194人/12h	—	162人/12h	153人/12h	↗

## ◆展開方向2:良好な住環境を創出します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
土地区画整理事業の施行区域内の居住人口	8,893人	8,993人	9,067人	9,129人	↗
土地区画整理事業の施行区域内の道路整備率	83.1%	84.2%	84.9%	86.4%	↗
土地区画整理事業の施行区域内の建築行為申請面積	54.37ha	55.63ha	57.22ha	58.18ha	↗

新規

## 小牧市土地利用見直し事業



都市政策部 都市計画課

- 1 事業年度 令和5年度～令和7年度
- 2 予算額 9,036千円(債務負担行為6,800千円)
- 3 目的及び効果 桃花台区域の用途地域の変更や産業候補地区等の見直しを検討するとともに、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を改定し、必要な都市計画決定を行います。

### 4 事業概要

(1) 桃花台区域及び産業候補地区等の土地利用見直し

桃花台区域内の用途地域及び地区計画等の変更や、まちの活力につながる産業候補地区の見直し等の土地利用について検討します。

(2) 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し

上記検討に基づき、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直しを行います。

(3) 都市計画決定

用途地域や地区計画等の見直しにより、必要な都市計画決定を行います。



令和2年2月



## 土地区画整理事業関連整備事業



都市政策部 区画整理課  
市民生活部 自治会支援室

1 予算額 31,625千円

2 目的及び効果 道路や公園等の整備を図り、健全で良好な市街地形成を図るため、土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進するとともに関連工事等を実施します。

### 3 事業概要

#### (1) 小牧南土地区画整理事業関連整備事業

土地区画整理事業施行区域内外にまたがる横断歩道橋の維持補修工事を行います。

#### (2) 小牧原樋下土地区画整理組合補助金

土地区画整理事業の進捗を図るため、土地区画整理組合が実施する出来形確認測量等に対し補助を行います。

なお、小牧原樋下土地区画整理事業は令和5年度に換地処分を迎える予定です。

#### (3) 小牧原樋下地区地番設定事業

小牧原樋下土地区画整理事業の区域内において、換地処分と合わせて新しい地番の設定を行います。



**基本施策 25 都市交通**

◆基本施策の目的

集約型市街地形成を誘導し過度に自動車に依存することのない暮らしを実現するため、各種の公共交通機関が有機的に連携するとともに、市民が進んで公共交通を活用できる公共交通ネットワークを維持・存続する持続可能な交通体系の構築を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
公共交通機関の1日平均利用者数	44,094人/日	44,057人/日	33,588人/日	35,931人/日	↗
週1回以上公共交通機関を利用している市民の割合	18.2%	16.2%	13.7%	14.5%	↗

◆展開方向1:より効果的・効率的な公共交通ネットワークを構築します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
こまき巡回バスの利用者1人あたり負担額	445円/人	453円/人	599円/人	528円/人	↘
市が補助している乗合バス路線の1日平均利用者数	88人/日	93人/日	62人/日	69人/日	↗

◆展開方向2:公共交通の利用を促進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
こまき巡回バスの1日平均利用者数	2,039人/日	2,001人/日	1,550人/日	1,804人/日	↗
駐輪場の不足台数	0台	0台	0台	0台	→
啓発講座など(民間との連携したものを含む)への参加者数	20人	60人	0人	0人	↗

## こまき巡回バス「こまくる」運行事業



都市政策部 都市整備課

1 予 算 額 380,415千円

2 目的及び効果 交通空白地域の解消や、公共施設へのアクセス確保のため、こまき巡回バス「こまくる」を運行することにより、公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和など、様々な効果が期待できます。

3 事業概要

### ○こまき巡回バス「こまくる」運行事業 361,415千円

こまき巡回バス「こまくる」の運行を継続して行う(23路線、運行台数17台、概ね1時間に1本の運行)とともに、利用者の方々が乗降しやすくなるよう、既設のバス停の改善を行います。

### ○地域公共交通計画策定等支援事業 19,000千円

(債務負担行為15,000千円)

まちづくりと連携した地域公共交通ネットワーク形成を促進するとともに、持続可能な公共交通を維持するため、利用者をはじめ市民の方々の声をお聴きするためのアンケート調査や地域懇談会などを実施し、地域公共交通計画の策定をはじめ、こまき巡回バス「こまくる」の再編の検討を進めます。



こまき巡回バス「こまくる」



## 基本施策 26

## 道路・橋りょう

## ◆基本施策の目的

老朽化した橋りょうなどの道路施設が計画的に修繕され、渋滞や交通事故がなく円滑・安全・快適に移動できる道路交通環境が整ったまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
渋滞発生箇所数	24箇所	23箇所	22箇所	21箇所	↘
歩行者の交通事故件数	53件	53件	45件	54件	↘

## ◆展開方向1:円滑に移動できる道路を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
都市計画道路の整備率	77.9%	78.0%	78.1%	80.7%	↗
生活道路の整備率	29.3%	29.5%	29.9%	30.0%	↗
交差点改良の実施箇所数	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	↗

## ◆展開方向2:歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
通学路歩道(歩車分離)整備率	49.9%	50.0%	50.2%	50.3%	↗
自転車通行帯の整備率	0%	0%	0%	0%	↗

## ◆展開方向3:老朽化する橋りょうなどの道路施設を計画的に維持補修します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
重要橋りょうの長寿命化修繕工事の進捗率	18.1%	20.8%	23.6%	26.4%	↗
横断歩道橋修繕工事の進捗率	31.8%	40.9%	50.0%	50.0%	↗

充実

## 道路整備事業



建設部 道路課

1 予算額 444,250千円

2 目的及び効果 生活環境に配慮した人にやさしい道路を整備し、歩行者や自転車が安全に通行できるようにします。

3 事業概要

○道路新設改良事業 319,500千円

○道路舗装新設事業 18,300千円

○道路側溝新設事業 53,950千円

○街路新設改良事業 24,500千円

### 北西部地区道路整備事業状況写真



(着手前)



(完了)

○新規狭あい道路整備事業 28,000千円

道路幅員が4メートル未満の狭あいな道路を拡幅整備することにより、緊急車両や歩行者が安全に通行できるよう、安全で災害に強い良好な生活環境の向上を図ります。



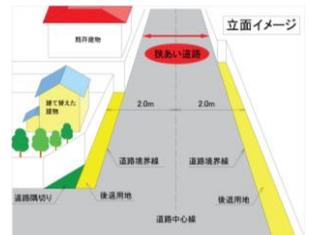
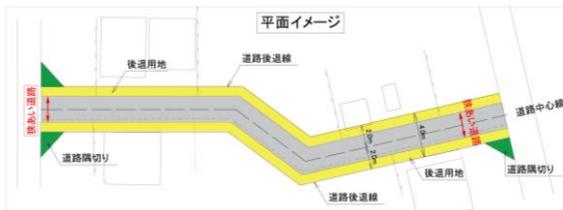
(1)狭あい道路の拡幅整備

狭あい道路にかかる後退用地に対して寄附を受納することで道路として利用できるよう拡幅整備します。

(2)狭あい道路整備促進事業補助金

後退用地を寄附するために要する測量及び登記等の費用に対して助成します。

【補助額】 対象経費の全額(上限50万円)



## 基本施策 27

## 上下水道

## ◆基本施策の目的

安全な水道水の安定的な供給や、下水道の整備・普及により、衛生的で快適に暮らせるまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
基幹管路の事故割合(水道事業)	0件/100km	0件/100km	0件/100km	0件/100km	→
公共下水道普及率(下水道事業)	74.9%	75.6%	77.4%	77.8%	↗

## ◆展開方向1:健全かつ安定的な経営でサービスを維持します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
経常収支比率(水道事業)	120.7%	115.8%	115.4%	116.4%	100%
経常収支比率(下水道事業)	102.5% (令和元年度)	—	93.9%	100.2%	100%

## ◆展開方向2:安全な水を供給します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
水質基準不適合率	0%	0%	0%	0%	→

## ◆展開方向3:公共下水道の普及・接続を促進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
公共下水道整備率	35.0%	35.5%	36.3%	36.8%	↗
公共下水道接続率	68.6%	69.5%	71.4%	71.9%	↗

## ◆展開方向4:施設の適切な維持及び計画的な更新を推進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
管路の耐震管率(水道事業)	22.2%	23.2%	23.9%	24.6%	↗
水道施設事故停止件数(水道事業)	0件	0件	0件	0件	→
下水道施設事故停止件数(下水道事業)	0件	0件	0件	0件	→
不明水率(下水道事業)	20.3%	20.9%	21.8%	22.0%	↘

**基本施策 28**

**河川・水路**

◆基本施策の目的

いつ起きるか分からない大雨による浸水被害を最小限に抑制し、市民の貴重な生命と財産を守ります。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
床上、床下浸水の被害戸数	111戸 (平成29年度)	0戸	0戸	0戸	↘

◆展開方向1:浸水区域を解消します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
準用河川の整備率	23.8%	24.5%	24.6%	24.7%	↗
雨水整備区域の整備率	7.8%	9.5%	9.5%	9.5%	↗

◆展開方向2:河川への雨水流出を抑制します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
雨水貯留施設整備の進捗率	63.2%	65.6%	65.6%	65.6%	↗

## 地域の水害対策事業



建設部 河川課

1 予算額 256,489千円

2 目的及び効果 降雨を速やかに流下・排水できるように河川水路の整備を行うとともに、短時間での豪雨などに備え、一時的に雨水を貯留する施設の整備を行うことにより、水害が起こりにくく、また、水害が発生した場合でも、その被害を最小限に抑制することができます。

3 事業概要

○河川水路整備事業 226,489千円

(継続費[令和4・5年度]102,000千円)

小針川整備事業

新濃尾土地改良関連整備事業

基幹的広域防災拠点関連整備事業等



令和4年～令和5年度施工  
河川水路整備事業  
(小針川整備事業)

○雨水対策事業 30,000千円

本田会館北公園雨水貯留施設整備事業

間々公園雨水貯留施設整備事業



## 基本施策 29

## 公園・緑地・緑道

## ◆基本施策の目的

安全で快適な公園整備を進め、市民がうるおいを感じることができる緑とやすらぎのある美しいまちを目指します。

## 【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
緑被面積	2,759.9ha (平成27年度)	2,704.3ha	2,704.3ha	2,704.3ha	↗
市内の公園を訪れた市民の割合	60.9%	62.7%	61.6%	62.0%	↗

## ◆展開方向1:緑の多い環境を整備します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
都市公園の整備率	96.1%	96.5%	97.3%	97.6%	↗
市民1人あたりの都市公園面積	7.5 m <sup>2</sup>	7.5 m <sup>2</sup>	7.6 m <sup>2</sup>	7.7m <sup>2</sup>	↗
ワークショップなどを通じ、地域住民のニーズを反映させて新たに整備・改修した都市公園数	0箇所	1箇所	1箇所	3箇所	↗
市からの働き掛けにより緑化推進に取り組んだ企業数	41件	39件	0件	0件	↗

## ◆展開方向2:安全・快適な公園を維持します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
公園管理者の過失による事故件数	0件	0件	0件	1件	→
管理委託団体が管理する都市公園数	91公園	92公園	93公園	94公園	↗

## 公園緑地施設整備事業



都市政策部 みどり公園課

1 予算額 401,300千円

2 目的 公園の適正配置に努めるとともに、緑の保全・創出、自然にふれあえる公園を整備改修し、市民に憩いの場を提供します。



3 事業概要

○主な都市公園等

	事業年度	予算額	事業内容
岩崎山公園 岩崎山前区画整理	平成14年度～	14,000千円	実施設計
天王塚公園 宮前公園 文津区画整理	平成14年度～	100,130千円	整備工事 (0.26ha) 実施設計
太良まめなしの里	平成21年度～	95,010千円	整備工事 (1.4ha) 修正実施設計
本田会館北公園	平成30年度～	76,050千円	整備工事 (0.14ha)
北西部地区公園	平成20年度～	8,120千円	土地評価 分筆図面作成
多気中央公園	平成29年度～	72,140千円	整備工事 (0.17ha)

○児童遊園(2か所施工) 予算額 35,850千円

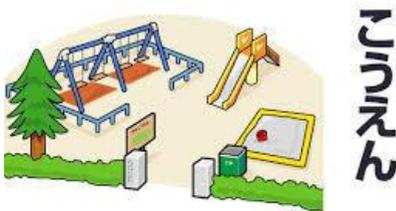
経年劣化が進む児童遊園を、安心して遊べる児童遊園とするため、計画的に施設再整備を行います。



上切公園(令和3年度施工)



東田中児童遊園(令和4年度施工)



**基本施策 30**

**住宅**

◆基本施策の目的

地震をはじめとする災害に強く、良質で人にやさしい住宅をストックすることで、市民が安全・安心に暮らすことができる居住環境を形成します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
新築住宅のうち長期優良住宅認定住戸の割合	37.5%	40.7%	36.5%	44.4%	↗
施策を要する木造住宅の戸数	3,275 戸	3,250 戸	2,850 戸	2,819 戸	↘
空き家の戸数	363 戸 (平成28年度)	363 戸	780 戸	665 戸	↘

◆展開方向1:安全・安心な住宅の整備を進めます

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
民間木造住宅耐震改修費などの補助件数(累計)	25 件	50 件	89 件	120 件	↗

◆展開方向2:人にやさしい市営住宅を供給します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
福祉世帯の入居率	66.3%	62.0%	65.2%	59.8%	↗

◆展開方向3:若年世代の定住を促進します

指標名	基準値	R1	R2	R3	目指す方向
三世同居・近居住宅支援事業による若年世代の定住者数	462 人	740 人	971 人	1,239 人	↗

充実

## 空家等対策推進事業



都市政策部 都市計画課

1 予 算 額 11,635千円

2 目的及び効果 空家等対策計画(令和4年度～13年度)に基づき、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、安全・安心な環境整備により、住みたくなる・住み続けたいまちの実現を目指します。

### 3 事業概要

#### (1) 空家等対策協議会の開催

空家等対策計画に位置付けた施策の実施に関する事項や特定空家等(空家等対策の推進に関する特別措置法)の認定に関する協議等を行います。

#### (2) 緊急安全措置

令和4年4月より施行された「小牧市建築物等及び空き地の適切な管理に関する条例」に基づき、落下の危険性が高い屋根瓦や外壁等の撤去など、人の生命、身体又は財産に重大な損害を及ぼす危険な状態を回避する緊急安全措置を実施します。

#### (3) **新規** 相続人確定調査

空家等の所有者を効率的に特定するため、相続人調査を公共嘱託登記司法書士協会に委託します。

#### (4) 空き家等除却工事費補助金

木造の老朽空き家及び危険空き家を除却する工事費の一部を補助します。  
補助額: 対象経費の1/2(上限20万円)



充実

## 定住促進事業



都市政策部 都市計画課

1 予算額 48,000千円

2 目的及び効果 若年層の定住を促進するため、子育てに対する不安や負担の軽減を図るとともに、中古住宅の利活用を促進し、将来にわたって活気ある住みよいまちづくりを目指します。

### 3 事業概要

○ 定住促進補助金 48,000千円

(1)～(4)の4タイプにより補助します。

(それぞれの要件を満たした場合、重複して補助可能)

(1) 三世代同居住宅支援タイプ【補助額】対象経費の1/2(上限60万円)

子育て世帯が、新たに“三世代同居”を始めるため、住宅の新築、購入またはリフォームなどを行った際に、その経費の一部を補助します。

(2) 三世代近居住宅支援タイプ【補助額】対象経費の1/2(上限30万円)

市外に居住していた子育て世帯が、新たに“三世代近居”を始めるため、住宅の新築、購入またはリフォームなどを行った際に、その経費の一部を補助します。

(3) 市内就業者定住促進タイプ【補助額】対象経費の1/2(上限30万円)

市内の事業所に就業している若年世代を対象に住宅を取得した際の費用を一部補助します。

(4) 中古住宅活用タイプ【補助額】対象経費の1/2(上限30万円)

市内の中古住宅の流通及び活用により、空家等の発生抑制を図るため、若年世代を対象に中古住宅の取得やリフォームなどを行った際の費用を一部補助します。

